

JF日本語関連事業紹介

に ほん ご かん れん じ ぎょう しょう かい

インドネシアの専門高校観光部門

せんもんこうこうかんこうぶもん

観光・サービス業務専攻用日本語教科書『インドネシアへようこそ』の開発

かんこう ぎょうむせんこうよう にほんごきょうかしょ かいぱつ

ジャカルタ日本文化センター元日本語教育専門家 山下美紀
にほんぶんか もとにほんごきょういくせんもんか やましたみき

<背景>

はいけい

1. インドネシアの専門高校と日本語

せんもんこうこう にほんご

インドネシアには普通高校、宗教高校、専門高校の3種類がある。専門高校は、卒業後社会に出てすぐに使えるような専門知識や技術を身に付けるための高校である。専門高校には農林漁業、工業技術、ビジネス・マネジメント、社会福祉、観光、ホテル、芸術・工芸などの分野がある。専門高校は国家教育省専門中等教育局が統括しており、同局がカリキュラム作成も行っている。

ナショナル・カリキュラムでは英語が第一外国語として定められており、第二外国語は原則として日本語・ドイツ語・フランス語・中国語であり、第二外国語が必須科目とされているのは、観光部門観光・サービス業務専攻の学生のみである。なお、学校裁量で追加科目や課外活動として他専攻であっても日本語を習うこともできる。

2. 観光・サービス業務専攻用日本語教科書の作成

かんこう ぎょうむせんこうよう にほんごきょうかしょ さくせい

インドネシアの高校では指定教科書はなく、各学校及び教師の裁量で決めている。専門高校の観光・サービス業務専攻では、これまではその目的に適した教材がなく、各教師が自主教材や市販されている日本語教科書を使用して授業を行っていた。しかし、教員の日本語力があまり高くなく、コミュニケーションな教授法を学んだ経験があまりないため、目的に即した授業運営が難しい、多忙であるために教材開発に時間が割けないなどの問題が見られた。それらの問題を解決するために、経験の浅い教師や日本語力のあまり高くない教師でもすぐに使え、効果的な学習が望める教材が必要とされていた。

そこで、国際交流基金ジャカルタ日本文化センターでは、国家教育省専門中等教育局との共催で、2000年に、まずシラバスの開発を行い、続いてシラバスに基づく会話練習を取り入れた素材集の作成を行った。その後、素材集をもとに2002年3月より本格的な教材作成に着手し、2004年に試用版が完成した。そして『2004年カリキュラム』が発表されたため、地域の専門高校教師及びジュニア専門家^{*}からのフィードバックと『2004年カリキュラム』の変更点を加え、2005年3月完成版が出来上がった。

作業手順としては、グループ内で検討したものを全体会議に持ち寄って再度検討するという方法を取った。グループ内での作業は主に専門高校の教師が中心になって進め、日本人講師はアドバイザー的な立場で関わった。

<教科書について>

きょうかしょ

本教科書は『2004年カリキュラム』準拠である。語彙及び文法はほとんど『日本語能力試験』4級レベルの学習項目である。本教科書は持ち運びのしやすいB5版で本冊1と本冊2に分かれている。本冊1（全104ページ）はローマ字表記、本冊2（全120ページ）はかな表記である。他に、音声テープ1本がある。



*国際交流基金が海外に派遣している若手の日本語教育専門家
こくさいこうりゅうきん かいがい はけん わかて にほんごきょういくせんもんか

1. 構成

- ① 導入＜Pengantar＞：課のテーマについて教師が生徒と話し合っ、場面や内容をイメージさせるための質問がある。
- ② 基本会話＜Percakapan Inti＞：観光の際に実際に会える場面での会話の例
- ③ 基本練習＜Latihan Dasar＞：新出語彙・文型の練習
- ④ 会話練習＜Latihan Percakapan＞：基本練習で学んだ語彙・文型を用いた会話練習。代入練習ができるようになって
いる。またロールプレイカードや質問表を学生が作り、クラス内で練習するための指示もついている。
- ⑤ やってみましょう（確認問題）＜Mari kita coba＞：本冊のうしろのほうに解答がのっているの、宿題にしたり、
学生が自宅で学習したりすることができる。

2. 特徴

(1) 授業例つき

導入から会話練習までの授業の進め方が細かく説明されているの
で、教授経験の浅い教師や日本語力のあまり高くない教師でも使
える。

(2) 観光の際に実際に会える場面の会話

各課に目標となる会話があり、自己紹介から始まり、客の出迎え、
チェックイン、ツアーの予約、ツアー中の説明、空港での見送り
というように旅行日程に沿って場面が進行する。

(3) 課のまとめ

各課の最後に、その課のまとめとなる確認問題がついているため、
ひとりでも復習できる。



SMK Binantara 専門高校の授業風景

3. 特に工夫した点 一わかりやすい学習目標一

- 各課のはじめに導入・基本会話があり、何のために学習するのか、
学習後にどんなことができるようになるのかが学習者及び教師に
理解・意識させやすくなっている。
- 学習意欲を高めるため、学習目標が理解しやすく、楽しく学習で
きるよう、会話練習には必ず場面設定をつけ、練習の仕方の指示
もできるだけわかりやすくするよう心がけた。また会話練習で使
用するタスクシートとなる表などの例もつけた。



授業では「インドネシアへようこそ」が使われている

4. 使用状況

2005年7月の新年度より使用を開始した。2004年に完成した試用版はインドネシア各地の観光科のある専門高校に配
布されたが、本教科書はインドネシア国内の書店にて販売されている。2005年5月現在、ジャカルタ日本文化センター
が把握している日本語の授業を行っている専門高校の数は、ジュニア専門家が派遣されている地域で約120校である。
ジュニア専門家が派遣されていない地域は専門高校（観光サービス専攻）がない、あるいは非常に少ないため、本教科
書の使用が見込まれるのは全国規模で見積もっても最大130校程度であろう。

これまで試用版も含めて使用した教師からは、「観光場面で実際にある会話があって役に立つ」「文法項目が学習しや
すく並べられている」「教科書の流れにそってそのまま教えていけばよく、教師にとって、使いやすい」などの声が上がっ
ている。今後、各地域の教師会で行われる勉強会で本教科書の使用方法の説明・模擬授業などを通し、本教科書の普及
を図る。また書店で販売されることにより、専門高校のみならず、観光コースのある大学や民間日本語学校などでの使
用も考えられる。